週末を利用した6日間の日程でバリ島最高峰に登る

バリ島最高峰アグン山とバトゥール山2座登頂 6日間

お申込みはこちら

週末を利用した日程でバリ島最高峰のアグン山と世界遺産バトゥール湖の雄大な景色が広がるバトゥール山に登り、バリ島の伝統文化にも触れます。アグン山は標高差約2,000mの登りごたえのある登山になりますが、このコースでは山中にテントで1泊し、登りと下りを分けて1日の負担を軽くしています。

発着地 東京

歩行時間 | 宿泊高度 | 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
10/ 8 (木)～10/13(火)	¥396,000

- 燃油サーチャージは(2026年4月24日現在：目安約69,400円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内します。
- e-VOA(電子到着ビザ、実費4,300円+申請料金4,400円、2026年4月24日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- バリ島観光税(入島税：1,300円)が別途かかります。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはデンパサールからデンパサールまで同行します。
- 最少催行人数：10人　●食事：朝4回、昼4回、夕5回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。サヌール/サヌールリゾート　ワトゥジンバーチャンディー/チャンディービーチリゾート
- 一人部屋追加料金：**¥42,000**
- 利用予定航空会社：ガルーダインドネシア航空

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 デンパサール 着/発 サヌール 着	午前、東京発✈デンパサールへ。 着後🚌サヌールへ。 機 — 夕【サヌール泊 H】
2	サヌール 発 バトゥール山登頂 チェンディダサ 着	朝🚌で出発。途中で登山ガイドと合流し、小型車に乗り換えて、登山口のトヤブンカ(約1,000m)へ。 **登山ガイドと共に登山を開始。バトゥール山(1,717m)を登頂します。山頂からはバトゥール湖とアバン山越しに見えるバリ島最高峰のアグン山の景色を楽しみます。往路を下山**(徒歩約4時間)。下山後🚌チャンディダサへ。 朝 昼 夕【チャンディダサ泊 H】
3	チャンディダサ 発 アグン山登山	朝、日本語ガイドと登山ガイドと共に🚌専用車(乗用車・分乗)で出発。登山口のあるプレガイ村へ。**アグン山登山のベースキャンプ(約1,200m)より登山ガイドと共に登山開始。いくつかあるアグン山登山コースのうちのプレガイルートを登ります。樹林帯の急登を登り、ポスト・タマン・ケサクサクで昼食。そこからタンジャカン・ケンバン・コニングへ進みポスト・ムンドゥク・テルに到着。樹林帯を抜ける手前で、キャンプサイト(約2,500m)へ到着**(徒歩約7時間)。 朝 昼 夕【アグン山山中泊 T】
4	アグン山登山 チェンディダサ 着	**ヘッドランプの明かりを灯し出発。樹林帯を抜けると、溶岩が冷えて固まった斜面になります。アグン山の頂上火口を囲む稜線に登り、お鉢を本峰(3,142m)に登頂。ご来光とバリ島の大展望を楽しんだ後、キャンプサイトへ戻り、さらに一気に下山します。** 下山後🚌チェンディダサへ。 朝 昼 夕【チャンディダサ泊 H】
5	チェンディダサ 発 バリ島観光 ケチャック・ダンス鑑賞 デンパサール 着	🚌**無数のコウモリが住む神聖な洞窟のあるゴア・ラワ寺院を見学。海の神を祀る由緒あるヒンドゥー教寺院**です。サヌールで昼食後、さらにバリ島の観光を楽しみます。 夕刻バリ島南部のビーチで**ケチャックダンスを鑑賞**します(約1時間)。 その後シーフードBBQの夕食を楽しみ、デンパサール空港へ。 朝 昼 夕【機中泊】
6	デンパサール 発 東京 着	✈デンパサール空港発、東京へ。 午前、東京着。 機 — —

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

神々の住む島バリ島とアグン山(3,142m)

ヒンドゥー教が強く根付いているバリ島。常にどこかで祭りが行われているほどに、人々のヒンドゥー教への信仰心は厚く儀式を重んじています。アグン山は先祖の魂が暮らす神聖な場所と考えられ、島の人々はこの山へ頭を向けて眠ると伝えられています。このコースではアグン山登山1日目に標高約1,200mの登山口から標高約2,500mのキャンプ地へ登り、テントで1泊。ヘッドランプの明かりを灯し、未明に登山開始。アグン山山頂(3,142m)でご来光を楽しんだ後、一気に下山します。登りごたえのある健脚向きのコースですが登下降を2日に分けて負担を減らし、雄大な景色と荒々しいアグン山の絶景を存分に楽しむ内容です。

▲稜線からアグン山本峰(3,142m)を望む

バトゥール山とバトゥール湖

バトゥール山は標高1,717mの火山で往復約4時間の登山で絶景が楽しめる人気の山です。眼下に世界遺産のバトゥール湖が望め、湖の向こうにはバリ島最高峰のアグン山も望める展望の山です。

▲雄大なカルデラの中のバトゥール湖

バリの伝統文化

ガムラン音楽、バリ舞踊、絵画、木彫り、ろうけつ染め(バティック)など、西洋とバリ島の芸術が融合し新たな島独自の文化を、多くの芸術家が創り上げています。

▲ろうけつ染め(バティック)

緑豊かな素朴な村々

人の手によって守られてきた美しい棚田が残る、伝統的な村々が多く見られます。独特の文化と風習を大切にしながら生きる人々の姿も垣間見ることが出来るでしょう。

▲美しい棚田の中をハイキング

伝統舞踊

バリ島を代表するの伝統舞踊として知られているのがケチャック・ダンス(ケチャ)。大勢の男性が円陣を組み、大合唱の中で繰り広げられる舞踏劇は圧巻です。

▲バリ島の伝統舞踊も堪能する